

# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

参考資料2

- 調査目的 医療機関における特定行為研修修了者など専門的な資格を有する看護職員の現状を把握し、事業実施の参考とする。(東京都看護師等キャリアアップ支援事業)
- 調査時点 令和5年4月1日現在
- 調査対象 都内病院634施設
- 調査期間 令和5年7月28日～9月4日
- 回答320施設(回収率50.5%)

## 1 専門的な資格を有している看護職員について(特定行為研修修了者以外)

○専門的な資格を保有している看護職員在籍数(延べ)

※特定行為研修修了者は別途掲載

	回答数	アドバンス助産師 (注1)			専門看護師 (注2)			認定看護師 (注2)			認定看護管理者 (注2)			診療看護師 (注3)			その他※	
		在籍施設数	在籍者数	1施設あたり	在籍施設数	在籍者数	1施設あたり	在籍施設数	在籍者数	1施設あたり	在籍施設数	在籍者数	1施設あたり	在籍施設数	在籍者数	1施設あたり	在籍施設数	在籍者数
病院(合計)	320	65	601	9.2	102	626	6.1	157	1,593	10.1	135	305	2.3	27	63	2.3	41	190
20～99床	102	7	46	6.6	9	17	1.9	15	29	1.9	10	16	1.6	2	3	1.5	3	7
100～199床	91	7	67	9.6	13	22	1.7	40	114	2.9	33	45	1.4	5	7	1.4	7	32
200～299床	33	3	15	5.0	8	27	3.4	20	92	4.6	15	28	1.9	3	5	1.7	3	22
300～499床	58	25	181	7.2	37	143	3.9	47	507	10.8	44	100	2.3	9	29	3.2	13	93
500床～	36	23	292	12.7	35	417	11.9	35	851	24.3	33	116	3.5	8	19	2.4	15	36
高度急性期	32	24	299	12.5	32	389	12.2	32	797	24.9	31	106	3.4	11	35	3.2	15	73
急性期	158	38	296	7.8	54	190	3.5	92	725	7.9	76	153	2.0	16	28	1.8	18	42
回復期	39	0	0	0.0	6	17	2.8	16	31	1.9	9	9	1.0	0	0	0.0	2	6
慢性期	89	3	6	2.0	9	29	3.2	15	35	2.3	18	36	2.0	0	0	0.0	6	69
その他	2	0	0	0.0	1	1	1.0	2	5	2.5	1	1	1.0	0	0	0.0	0	0

(注1)一般財団法人日本助産評価機構の認証(CLoCMiレベルⅢ)資格 (注2)公益社団法人日本看護協会の認定資格  
(注3)日本NP教育大学院協議会の認める教育課程を経て認定された看護師

# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

## 2 看護職員の特定行為研修受講状況等について

○ 特定行為研修修了者在籍施設数 112施設(在籍施設率35.0%) (n=320)

(参考) R4年 32.6%、R3年 32.0%

(単位:施設)

	回答数	修了者 在籍施設	修了者			修了者 不在施設	在籍施設 率(対回答 数)	R4在籍 施設率 (対回答 数)	R3在籍 施設率 (対回答 数)
			区分別の み修了	領域別の み修了	区分別及 び領域別 修了				
病院(合計)	320	112	80	2	30	208	35.0%	32.6%	32.0%
20～99床	102	5	3	1	1	97	4.9%	6.3%	4.6%
100～199床	91	23	19	1	3	68	25.3%	20.3%	17.5%
200～299床	33	14	11	0	3	19	42.4%	42.9%	33.3%
300～499床	58	38	30	0	8	20	65.5%	54.5%	56.8%
500床～	36	32	17	0	15	4	88.9%	76.5%	77.1%
高度急性期	32	32	16	0	16	0	100.0%	-	-
急性期	158	69	53	2	14	89	43.7%	-	-
回復期	39	5	5	0	0	34	12.8%	-	-
慢性期	89	6	6	0	0	83	6.7%	-	-
その他	2	0	0	0	0	2	0.0%	-	-

# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

## ○ 本調査における特定行為研修修了者数 511人

(単位:人)

	修了者在籍施設数	合計実人数	在籍施設1施設当たり	
			うち、特定認定看護師数	
病院(合計)	112	511	249	4.56
20~99床	5	16	8	3.20
100~199床	23	55	24	2.39
200~299床	14	39	22	2.79
300~499床	38	172	97	4.53
500床~	32	229	98	7.16
高度急性期	32	187	87	5.84
急性期	69	299	152	4.33
回復期	5	6	4	1.20
慢性期	6	19	6	3.17
その他	0	0	0	—

## ○ 区分別修了者数(延べ人数)

(単位:人)

特定行為区分	①呼吸器(気道確保に係るもの)	②呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)	③呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)	④循環器	⑤心嚢ドレーン管理	⑥胸腔ドレーン管理	⑦腹腔ドレーン管理	⑧ろう孔管理	⑨栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)	⑩栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)	⑪創傷管理	⑫創部ドレーン管理	⑬動脈血液ガス分析	⑭透析管理	⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与	⑯感染に係る薬剤投与	⑰血糖コントロールに係る薬剤投与	⑱術後疼痛管理	⑲循環動態に係る薬剤投与	⑳精神及び神経症状に係る薬剤投与	㉑皮膚損傷に係る薬剤投与	合計
区分割合	6.1%	7.7%	4.0%	2.1%	1.4%	1.9%	2.1%	1.7%	4.3%	5.0%	6.5%	3.8%	5.9%	2.0%	19.9%	4.1%	6.3%	4.2%	5.9%	3.7%	1.6%	100%
人数	139	175	92	47	32	44	49	39	98	115	148	86	136	45	454	94	143	95	134	85	36	2,286

# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

## ○特定行為研修修了者が在籍する施設における特定行為実施率 71.4%

(単位:施設)

	修了者在籍施設	実施している施設	実施していない施設	修了者在籍施設の実施率	修了者在籍施設の実施率(R4年)	実施している実人数
病院(合計)	112	80	32	71.4%	67.0%	302
20~99床	5	3	2	60.0%	60.0%	8
100~199床	23	14	9	60.9%	53.3%	38
200~299床	14	11	3	78.6%	58.3%	15
300~499床	38	27	11	71.1%	66.7%	111
500床~	32	25	7	78.1%	80.8%	130
高度急性期	32	23	9	71.9%	-	104
急性期	69	52	17	75.4%	-	184
回復期	5	2	3	40.0%	-	2
慢性期	6	3	3	50.0%	-	12
その他	0	0	0	-	-	0

## ○特定行為実施の効果(延べ数)(n=80)

①看護実践の質向上 42施設 ②医師の負担軽減 41施設 ③タスク・シフト/シェア 37施設

(単位:施設)

	医師の負担軽減	タスク・シフト/シェア	チーム医療の推進	早期対応・早期発見	早期回復(入院期間の短縮等)	看護実践の質向上	患者満足度の向上	教育効果・モチベーション向上	その他
病院(合計)	41	37	35	31	9	42	8	20	2

## ○特定行為を実施している施設において研修受講を希望する者 77.5%

※特定行為を実施していない施設において研修受講を希望する者 50.0%

# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

## ○特定行為を実施している領域

①創傷管理 11.8%、②栄養及び水分管理に係る薬剤投与 9.6%、③呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 8.2%

(単位:施設)

特定行為区分	①呼吸器(気道確保に係るもの)	②呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)	③呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)	④循環器	⑤心嚢ドレイン管理	⑥胸腔ドレイン管理	⑦腹腔ドレイン管理	⑧ろう孔管理	⑨栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)	⑩栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)	⑪創傷管理	⑫創部ドレイン管理	⑬動脈血液ガス分析	⑭透析管理	⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与	⑯感染に係る薬剤投与	⑰血糖コントロールに係る薬剤投与	⑱術後疼痛管理	⑲循環動態に係る薬剤投与	⑳精神及び神経症状に係る薬剤投与	㉑皮膚損傷に係る薬剤投与	合計
区分割合	6.3%	8.2%	3.6%	1.7%	1.0%	2.2%	1.7%	1.7%	4.6%	7.0%	11.8%	4.1%	8.2%	1.4%	9.6%	3.9%	6.5%	6.3%	5.3%	3.4%	1.7%	100%
病院(合計)	26	34	15	7	4	9	7	7	19	29	49	17	34	6	40	16	27	26	22	14	7	415
20~99床	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	20
100~199床	4	6	3	1	0	2	3	2	8	8	11	3	7	0	10	6	5	4	4	4	2	93
200~299床	1	2	1	0	0	0	0	0	1	5	3	0	3	0	1	2	2	2	0	2	0	25
300~499床	8	11	5	2	2	3	2	3	4	6	22	10	11	4	14	5	7	7	6	4	3	139
500床~	12	14	5	3	1	3	2	2	5	9	12	3	12	1	13	2	11	12	11	4	1	138
高度急性期	12	14	6	4	2	3	2	1	5	7	12	6	14	3	15	3	10	11	9	3	2	144
急性期	12	17	6	2	2	6	5	5	9	17	33	10	19	3	22	10	14	15	12	8	5	232
回復期	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
慢性期	2	3	2	1	0	0	0	1	3	3	3	1	1	0	3	3	3	0	1	3	0	33
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

## ○特定行為未実施施設(n=32)において特定行為を実施していない理由(複数回答)

- ①体制未整備 11施設 ②必要性を感じない 6施設  
③医師や患者の理解不足 5施設

	必要性を感じない	希望者がいない	人材不足	体制未整備	医師や患者の理解不足	その他
病院(合計)	6	2	3	11	5	5
20～99床	1		1	1		
100～199床	1	2	2	4		1
200～299床				2		1
300～499床	3			2	3	2
500床～	1			2	2	1
高度急性期	2			2	3	2
急性期	3	2	1	6	2	3
回復期	1		1	1		
慢性期			1	2		
その他						

理由区分	主な内容(自由記述)	件数
体制未整備	「特定行為実施手順書がないため」 「院内体制の整備、手順書の作成ができていない」 「特定行為実施のための実施体制がない」等	11
必要性を感じない	「実施できる特定行為が当院での業務とマッチしない」 「医師が対応できており、院内で実施する場面はない」 「医師が対応可能なため」等	6
医師や患者の理解不足	「他職種の理解、診療科の協力を得られない」 「医師の賛同がない」「医師・看護師の理解がない」等	5
人材不足	「看護師の定員が満たない」 「特定行為活動ができる人的環境不足」 「看護管理業務多忙のため、実施できない」等	3
希望者がいない	「本人が特定行為の実施を望んでいない」 「診療部からの具体的な要望がない」	2
その他	「現場で活躍してもらうには、一定数の確保が必要」 「規定がない」等	5

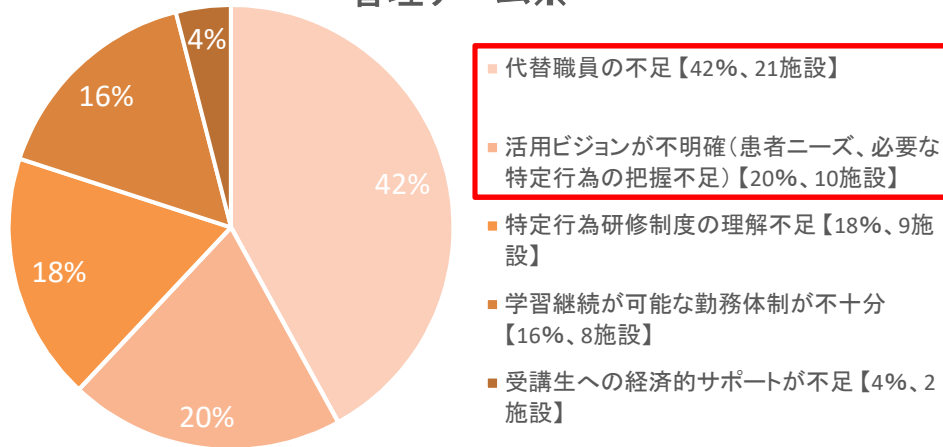
# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

## <特定行為研修修了者が不在の施設 (n=208) について>

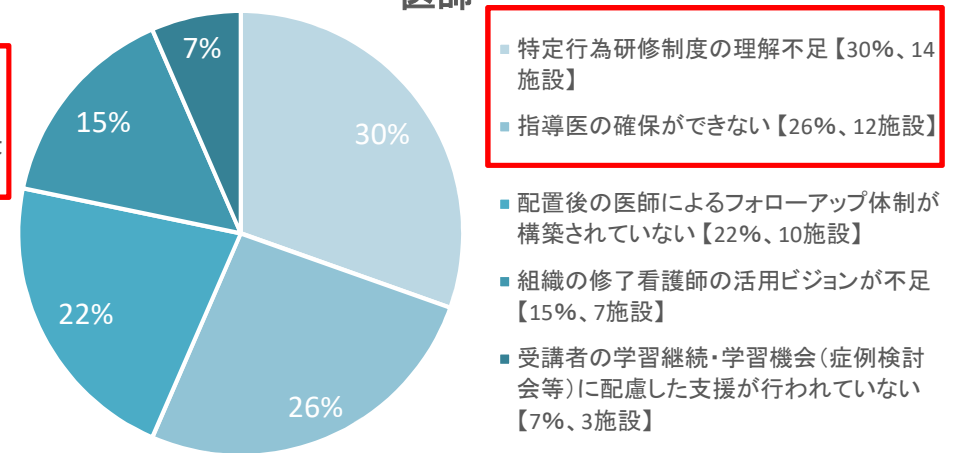
○研修修了者の配置を検討している施設 52施設(配置検討施設率25.0%)

○研修修了者を導入するに当たり認識している課題

管理チーム※

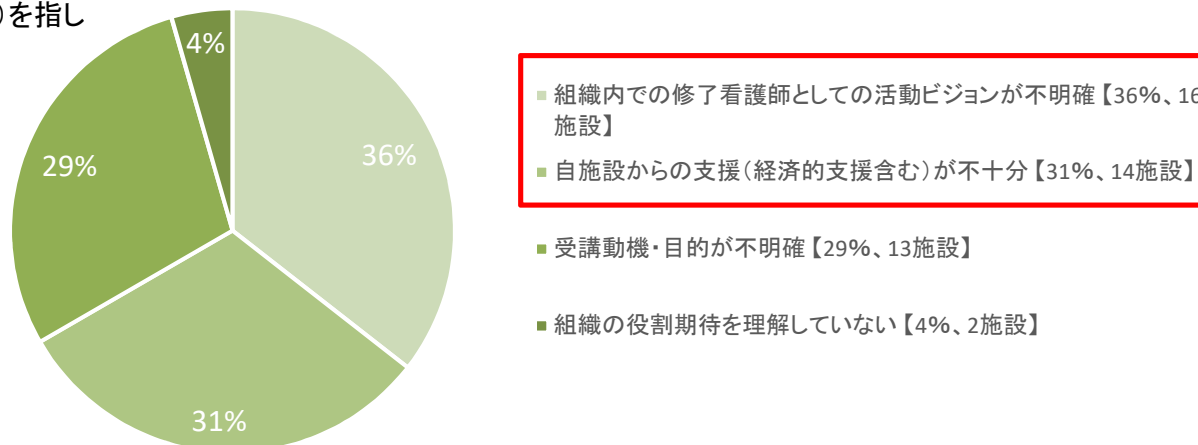


医師



※ここでは組織管理者(病院長、看護部長、事務長など)と部署管理者(看護管理者、教育担当看護管理者など)を指します。

受講希望看護師・修了看護師



# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

## <特定行為研修修了者が不在の施設 (n=208) について>

### ○特定行為研修修了者の配置を検討していない施設 149施設

配置を検討していない理由

①必要性を感じない 47施設、②希望者がいない 11施設、③人材不足 8施設、④体制未整備 6施設

	① 必要性を感じない	② 希望者がいない	③ 人材不足	④ 体制未整備	⑤ 医師や患者の理解不足	⑥ 法人や病院の方針	⑦ 未検討	⑧ 費用	⑨ その他
病院(合計)	47	11	8	6	4	4	4	3	13
20～99床	26	5	7	3	2	1	0	1	5
100～199床	13	3	1	2	2	1	2	2	3
200～299床	3	2	0	1	0	1	2	0	1
300～499床	4	1	0	0	0	0	0	0	4
500床～	1	0	0	0	0	1	0	0	0
高度急性期	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性期	19	5	4	2	1	2	3	1	4
回復期	11	1	1	1	0	0	1	2	3
慢性期	17	5	3	3	3	2	0	0	6
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

理由区分	主な内容(自由記述)	件数
必要性を感じない	「一般の看護師でも医師の指示にて業務が円滑に行われているため」「現状医師での実施が十分可能だから」「現状は、必要に応じて院内研修等により技能習得することで一定以上の医療サービスの質を確保できていると考える」等	47
希望者がいない	「現職員での研修希望者がいない」「特定行為研修受講の予定がない」等	11
人材不足	「現在の状況等では余裕がない」「まず人員確保に専念」等	8
体制未整備	「開院したばかりで役割等の取り決めがなされていない」「受講生への施設からの支援がない」等	6
医師や患者の理解不足	「医師の理解、協力が期待できない」「患者様の状況と業務内容を鑑み今は検討していない」等	4
法人等の方針	「法人の方針だから」「看護部として、特定行為の実施を認めていないため」等	4
未検討	「具体的な検討をしていない」「院内での検討も必要」等	4
費用	「コスト、人員が必要となる」「費用と時間がかかる」等	3
その他	「有効な活用方法、必要性の理解が不十分なため」「基本レベルの知識・技術向上を優先したい」「活動ビジョンが不明確」等	13



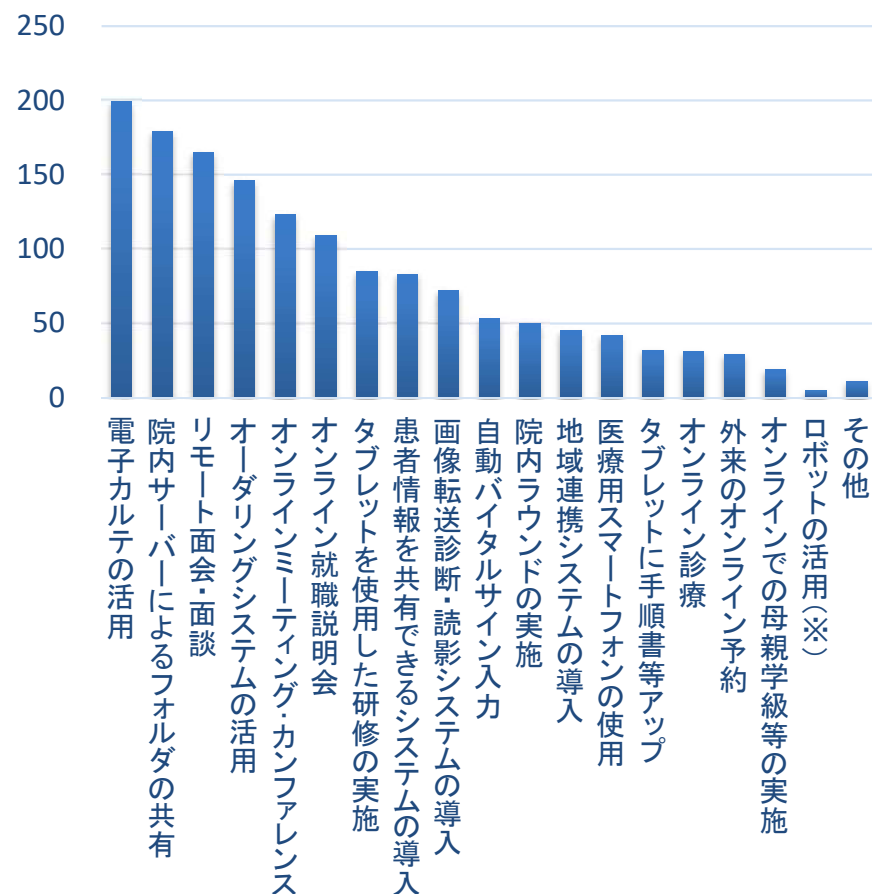
# 専門的な資格を持った看護師の配置 及び活用状況の実態調査(概要)

## 3 チーム医療の推進等に向けた取組みについて(n=320)

(1) 看護師から他職種へのタスクシフト・タスクシェア  
実施している施設 75.9% (243施設)

(2) ICT(情報通信技術)の活用  
活用している施設 77.2% (247施設)

	回答数 (a)	している (b)	していない	無回答	実施施設 率(b/a)
病院(合計)	320	243	58	19	75.9%
20~99床	102	52	43	7	51.0%
100~199床	91	73	10	8	80.2%
200~299床	33	30	2	1	90.9%
300~499床	58	54	2	2	93.1%
500床~	36	34	1	1	94.4%
高度急性期	32	29	1	2	90.6%
急性期	158	126	25	7	79.7%
回復期	39	28	8	3	71.8%
慢性期	89	58	24	7	65.2%
その他	2	2	0	0	100.0%



※みまもりロボットや介護ロボット等